

## セミナーのご案内

今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします

|   |  |  |  |  |  |
|---|--|--|--|--|--|
| 回 |  |  |  |  |  |
| 覧 |  |  |  |  |  |

高等教育活性化シリーズ 114 (通算 372 回)

2007 年 3 月 13 日(火)

### U S R の試練と挑戦

# 科学研究活動の不正防止対策～検証と進化

高等教育活性化シリーズ 115 (通算 373 回)

2007 年 3 月 15 日(木)

### 制度の改革動向と内部統制の強化

## 科学研究費補助金の不正使用対策

### U S R の試練と挑戦

## 科学研究活動の不正防止対策～検証と進化

～研究環境と責任体制の再構築に向けて～

声明「科学者の行動規範」/責任ある研究活動/専門職へのチェック機能/研究環境の再構築  
不正対策チームの検討成果/管理・監査のガイドライン/公的研究資金制度の今後

[東京大]「科学研究行動規範」制定/規範委員会の規則と運用/研究費運用管理の具体策

[同志社大]全学的な基準/「人を対象とする研究」倫理基準/文科省ガイドラインへの対応

#### 講師陣

- |         |   |  |
|---------|---|--|
| 笠木 伸英 氏 | / | 日本学術会議・科学者の行動規範に関する検討委員会副委員長<br>東京大学大学院 工学系研究科教授 |
| 糸川 泰一 氏 | / | 文部科学省 科学技術・学術政策局調査調整課課長補佐                        |
| 岡村 定矩 氏 | / | 東京大学理事・副学長 大学院理学系研究科教授<br>東京大学・科学研究行動規範委員会委員長    |
| 木村 國男 氏 | / | 同志社大学 研究開発推進機構研究開発推進室長                           |

2007 年 3 月 13 日(火)日本教育会館 会議室(東京・神保町)

### 制度の改革動向と内部統制の強化

## 科学研究費補助金の不正使用対策

～執行・運営ルールの改善と管理・会計処理・監査の実際～

関連政策の新展開/審査・配分・執行・評価システム/間接経費/研究者・研究機関の責務  
審査委員選考方法の見直し/若手研究の新設/細目表の見直し/年度間繰越の活用促進

不正の背景と社会の眼/責任体系の明確化/運営・管理の体制整備/モニタリング制度の構築

#### 講師陣

- |         |   |  |
|---------|---|--|
| 磯谷 桂介 氏 | / | 文部科学省 研究振興局学術研究助成課長  |
| 大木 宰子 氏 | / | (独)日本学術振興会 研究事業部部長   |
| 大久保和孝 氏 | / | 公認会計士 文部科学省・研究費の不正対策検討会委員<br>新日本監査法人CSR担当パートナー CSR推進部長<br>新日本インテグリティアシュアランス(株) 常務取締役 |

2007 年 3 月 15 日(木)日本教育大学院大学 会議室(東京・麹町)



[ 参加要領 ]

科学研究活動の不正防止対策～検証と進化

日時：2007年3月13日(火) 10:00～16:50  
 会場：日本教育会館会議室 (東京・神保町)  
 東京都千代田区一ツ橋2-6-2  
 TEL 03(3230)2831

アクセス：東京メトロ半蔵門線 都営新宿線  
 「神保町」駅下車 徒歩3分  
<http://www.jec.or.jp/koutuu/>  
 会場の地図及び受講証を送付しますので  
 必ずご確認ください。

参加費：A.ご一名(資料代込)  
 40,000円(消費税込)  
 B.メディア参加(資料・カセットテープ送付)  
 41,000円(送料、消費税込)

科学研究費補助金の不正使用対策

日時：2007年3月15日(木) 10:30～16:20  
 会場：日本教育大学院大学 (東京・麹町)  
 東京都千代田区二番町8-2

アクセス：地下鉄有楽町線「麹町駅」5番出口より2分  
 JR「市ヶ谷駅」「四ツ谷駅」より徒歩6分  
<http://www.kyoiku-u.jp/shisetsu/access.html>  
 会場の地図及び受講証を送付しますので  
 必ずご確認ください。

参加費：A.ご一名(資料代込)  
 38,000円(消費税込)  
 B.メディア参加(資料・カセットテープ送付)  
 39,000円(送料、消費税込)

新年度(4月以降)のお支払いにも対応いたします。

参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方が都合の悪いときは代理の方がご出席ください。

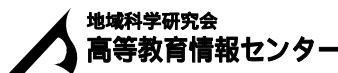
インターネットで小会の最新情報をご覧いただけます <http://www.chiikikagaku-k.co.jp>

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または郵送にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 郵便振替 00110-8-81660  
 全ての口座名<(株)地域科学研究会>  
 ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106  
 TEL:03(3234)1231/FAX:03(3234)4993  
 Mail:kkj@chiikikagaku-k.co.jp



Web:<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>



キリトリ線(参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2007年 月 日

|  |      |        |
|--|------|--------|
| 高等教育活性化シリーズ 114<br>科学研究活動の不正防止対策～検証と進化 | 当日参加 | メディア参加 |
| 高等教育活性化シリーズ 115<br>科学研究費補助金の不正使用対策     | 当日参加 | メディア参加 |

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
|       |         |         |
|       |         |         |
|       |         |         |

通信欄 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類〔 請求書 見積書 〕

\*この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間                  | 講義項目  |
|---------------------|---|
| 10:00<br>～<br>11:30 | <p>日本学術会議声明「科学者の行動規範」と残された課題<br/>                     東京大学 笠木 伸英</p> <p><b>1. 変容する研究環境と不正行為</b><br/>                     (1) 変容する研究環境 (2) 日本の風土と思考態度</p> <p><b>2. 日本学術会議声明「科学者の行動規範」</b><br/>                     (1) 日本学術会議における検討 (2) 「科学者の行動規範」<br/>                     (3) 「科学者の行動規範の自律的実現を目指して」<br/>                     (4) 関係諸団体へのアンケート調査</p> <p><b>3. 責任ある研究</b><br/>                     (1) 不正行為とは (2) 責任ある研究活動とは</p> <p><b>4. 専門職業人(Profession)としての研究活動</b><br/>                     (1) 社会を支える専門職 (2) 研究活動のチェック機能<br/>                     (3) 専門職サービスのチェック機能</p> <p><b>5. 責任ある研究を促すために</b><br/>                     (1) 研究環境の構築 (2) 組織と個人, 世代間の役割と責任<br/>                     (3) 研究倫理と職業教育 質疑応答</p> |
| 11:40<br>～<br>12:40 | <p>研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)を巡って<br/>                     文部科学省 桑川 泰一</p> <p><b>1. 文部科学省「研究費の不正な使用に関する対策チーム」における検討</b><br/> <b>2. 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)</b><br/>                     (1) 研究費の不正対策検討会の経緯 (2) ガイドラインの内容</p> <p><b>3. 研究費の不正対策検討会からの提言</b><br/>                     (1) 今後の公的研究資金制度の在り方</p> <p><b>4. 今後の取組について</b> 質疑応答</p>  |
| 13:40<br>～<br>15:10 | <p>[東京大] 科学研究の行動規範と不正防止対策<br/>                     ～委員会規則と今後の運用～<br/>                     東京大学 岡村 定矩</p> <p><b>1. 「東京大学の科学研究における行動規範」とその制定の背景</b><br/> <b>2. 東京大学行動規範委員会規則の概要</b><br/>                     (1) 研究不正の定義 (2) 委員会の構成<br/>                     (3) 受付窓口の設置と公表 (4) 受付から予備調査、本調査、裁定までの手続<br/>                     (5) 裁定概要の公表 (6) 研究者への啓発活動</p> <p><b>3. 運用上の課題について</b><br/> <b>4. 東京大学における研究費不正防止対策</b><br/>                     (1) 研究資金の管理体制 (2) 検収制度の見直し<br/>                     (3) 物品等の調達改善 (4) 異なる研究資金制度の使用範囲の分類と周知<br/>                     (5) 研究費の立替制度 (6) 科研費の繰越制度の活用促進<br/>                     (7) 間接経費の使途について (8) 国等への研究資金に対する要望 質疑応答</p>  |
| 15:20<br>～<br>16:50 | <p>[同志社大] 研究倫理規準の策定とチェック体制の構築<br/>                     ～規程等制定(2005年)のプロセスでの論議/文科省ガイドラインへの対応～<br/>                     同志社大学 木村 國男</p> <p><b>1. 研究倫理規準等関連規程制定の経緯</b><br/>                     (1) 学際的な「基準」の制定を目指して (2) 不正行為等への対応の規程</p> <p><b>2. 同志社大学研究倫理規準</b><br/>                     (1) 研究活動を行う上での倫理指針 (2) 学生の扱いに関する規定<br/>                     (3) 研究倫理委員会の役割</p> <p><b>3. 同志社大学「人を対象とする研究」倫理規準</b> 右ページ上段へ続く</p>   |

- (1) 「人を対象とする研究」の定義 (2) 個人情報・データを収集する場合の指針  
 (3) 研究計画の審査手順 - 「書類審査」と「合議審査」  
**4. 教育研究活動における不正行為等への対応の体制 (2007年4月～)**  
 (1) 「違反等への対応に関する規程」 (2) 倫理審査委員会・倫理審査室の設置  
**5. これからの対応及び課題**  
 (1) 「会計等職務の権限に関する規程」の実務面での運用 質疑応答

## 科学研究費補助金の不正使用対策

2007年3月15日(木)

| 時間                  | 講義項目   |
|---------------------|--|
| 10:30<br>～<br>12:30 | <p>競争的資金政策の新展開<br/>           ～ 科学研究費補助金の制度改革と研究機関の責務～<br/>           文部科学省 磯谷 桂介</p> <p><b>1. 科学技術・学術政策の進展と科学研究費補助金</b><br/>           (1) 科学技術関係予算の動向<br/>           (2) 科学技術基本計画と科学研究費補助金<br/>           (3) 学術研究を支援する科学研究費補助金</p> <p><b>2. 科学研究費補助金制度の課題</b><br/>           (1) 不正使用・不適切経理の防止 (2) 審査・配分・執行・評価システムの在り方<br/>           (3) 研究種目の在り方</p> <p><b>3. 不正使用等防止対策と制度改善</b><br/>           (1) 防止対策と研究者・研究機関の責務<br/>           各研究機関が行うべき事務等<br/>           科学研究費補助金の不正使用防止対策として講ずる措置について<br/>           (2) 制度改善の状況</p> <p><b>4. 今後の改革の方向性</b> 質疑応答</p> |
| 13:30<br>～<br>14:10 | <p>日本学術振興会における科学研究費補助金改革への取組<br/>           ～ 学術システム研究センターの果たす役割～<br/>           日本学術振興会 大木 幸子</p> <p><b>1. 学術システム研究センターの概要</b><br/>           (1) プログラムオフィサー制度の整備 (2) 学術システム研究センターの組織<br/>           (3) 学術システム研究センターの業務</p> <p><b>2. 科学研究費補助金における学術システム研究センターの役割</b><br/>           (1) 審査委員選考方法の見直し (2) 電子申請システムの導入<br/>           (3) 審査についての改善事項 (4) 「系・分野・分科・細目表」の見直し<br/>           (5) 「若手研究(スタートアップ)」の新設 (6) 研究計画調書の見直し<br/>           (7) 年度間繰越の活用促進 (8) 不正使用等の防止対策<br/>           (9) 今後の課題等 質疑応答</p>   |
| 14:20<br>～<br>16:20 | <p>研究費の不正使用を防止するための管理・監査体制のあり方<br/>           ～ 研究現場の実情に合わせつつ、実効性を高める体制の構築～<br/>           新日本監査法人 大久保和孝</p> <p><b>1. 研究費の不正使用に関する社会的背景</b><br/>           (1) 不正とは何か～背景と社会からの見方 (2) 制度的な要因とその改善状況</p> <p><b>2. 管理体制構築の基本的な考え方</b><br/>           (1) 社会的な要請に応じた組織管理の在り方 (2) 内部統制とは何か<br/>           (3) 研究機関における管理・監査体制の構築</p> <p><b>3. 研究費の不正使用を防止するために必要な管理・監査体制</b><br/>           (1) 機関内の責任体系の明確化 (2) 適正な運営・管理の基盤となる環境の整備<br/>           (3) 不正対応の具体的な取り組み (4) 研究費の適正な運営・管理活動<br/>           (5) 研究機関内における意思疎通 (6) モニタリング制度の構築 質疑応答</p>                      |